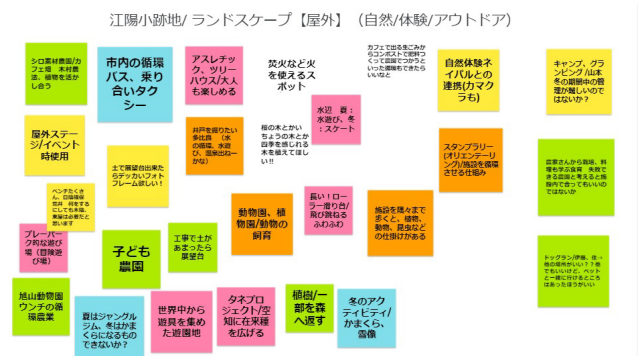


「砂川で実現したいこと。そのために私ができること。」
『みんなのすながわプロジェクト』オンラインワークショップで、
SHIRO 新工場付帯施設の構想を市民と具体化。
ランドスケープにつながる『たねプロジェクト』も始動。

■第2回、第3回オンラインワークショップのご報告



＜オンラインワークショップの様子＞



＜Jamboard に寄せられた意見＞

コスメティックブランド SHIRO を展開する、株式会社シロ（本社：東京都港区、代表取締役：福永敬弘）が創業の地である北海道砂川市で進めている『みんなのすながわプロジェクト』では、2021年9月4日（土）に第2回目、9月18日（土）に第3回目となるオンラインワークショップを開催。それぞれ、30名以上の市民やプロジェクトに関心がある方々がオンライン上で集い、シロの新工場の建設地である江陽小学校跡地の施設に関して意見を深めた。

第2回ワークショップは、市民アンケートや第1回ワークショップで挙がったアイデアを、【自然・農園・アウトドア】、【食べる空間】、【学び・体験・みんなの居場所】、【道の駅・マーケット・観光情報】、【その他】の5テーマに分け、参加者は自分の気になるテーマでグループディスカッションを実施。最後は各自の「やってみたいこと、できること」の発表で締めくくった。

【自然・農園・アウトドア】では、「子どもたちが自然に直接触れ学べる場」「植物同士が活かしあえる農法」「世界中のアスレチックを検討」「交通の便の悪さをカバーできる施策が必要」などの意見が出た。

【学び・体験・みんなの居場所】では、「多世代の交流の場」「大人がひとりでもくつろげる場」「同じ悩みを持った仲間が集える場」「職業体験」など。【その他】では、「市内の宿泊施設の充実」「市内循環バスによる移送」などの声に共感が集まった。

第3回ワークショップでは、前回の意見を【多目的ホール／屋内】、【ランドスケープ／屋外】の2つに集約。市民主導の部会が発足し、実現に向け自走していくことを目標に実施した。

【ランドスケープ／屋外】では、1年の半分は雪に覆われる砂川市だからこそできる、雪を利用したアクティビティを検討実行する雪部会が発足された。【多目的ホール／屋内】では、コンテンツとして「学び」や「居場所」に関わる様々な意見が交わされた。

「砂川で実現したいこと。そのためにできること。」をテーマにワークショップを重ねる中で具体化され、部会での検討も進むプロジェクトの進捗は、公式ウェブサイトやSNSで発信中。

■砂川の在来植物を増やし、守っていく『たねプロジェクト』活動開始



「市民1人あたりの公園面積日本一」であり、緑豊かな環境を誇る砂川でも、外来種の圧迫が在来種を脅かしている調査結果を受けて、在来種の植物を増やし守っていく『たねプロジェクト』もスタート。

広大な山や森がある北海道子どもの国やネイパル砂川、砂川市地域交流センターゆうと協働し、子どもや市民のみなさんと、在来種の種を採り、苗になるまで育て、江陽小学校跡地や市内に植えていく構想。苗が成長した際には、その木材で家具などを作りたいという未来の夢も詰まっている。

2021年10月17日(日)には、ツリバナ、ミズナラ、コナラ、シナ、クルミなどの種を採取し植えて家に持ち帰り育てるためのワークショップを実施予定。



『みんなのすながわプロジェクト』についてはこちら
【公式ウェブサイト】

<https://shiro-sunagawa.jp/>

【公式 SNS アカウント】

YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCGgdm3GbSP0zqPUoqpvBsUQ>

Instagram : https://www.instagram.com/shiro_sunagawa/

Twitter : https://twitter.com/shiro_sunagawa

Facebook : <https://www.facebook.com/SHIRO.SUNAGAWA/>

公式ウェブサイトより、各公式 SNS のアカウントをご確認いただけます。

<公式ウェブサイト>





【お問い合わせ先】

〔プロジェクトについて〕

株式会社シロ／みんなのすながわプロジェクト事務局 田伏・野崎

〒073-0148 北海道砂川市西豊沼275番地
TEL : 0125-52-3738